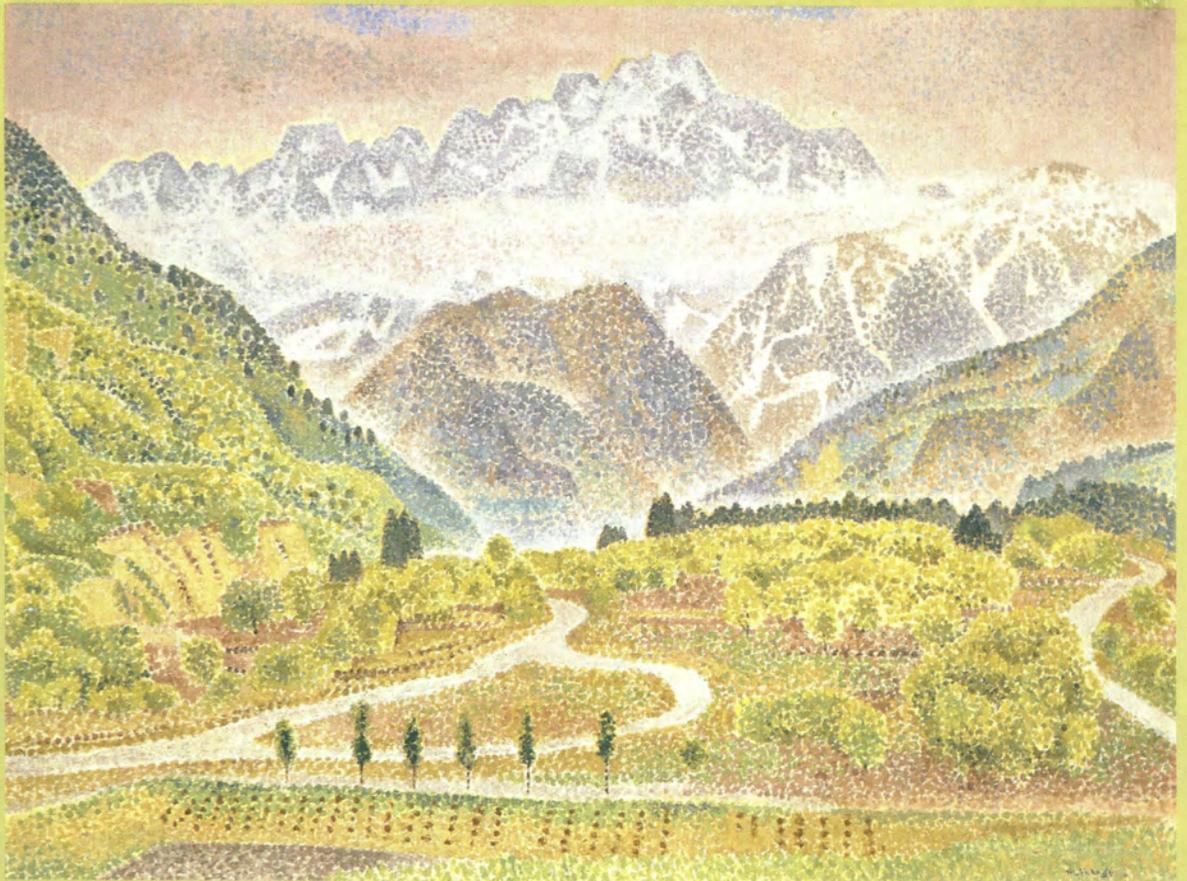




1983/4 No.171



置県百年シンボルマーク

百年のバトンにぎって 築く夢

厳しさの中にも 夢と希望を

昭和58年度富山県予算成立



一般会計	三、二二九億一、八一〇万円
特別会計	四九五億五、三九二万円
総額	三、七二四億七、二〇二万円

昭和五十八年度予算案は、二月定例県議会で慎重な審議を経て、三月十二日原案どおり可決されました。

予算編成の基本方針

昭和五十八年度の県の財政は、県税の伸びが期待し難く、また、地方交付税が大幅に減額となり、一般財源が前年度を大きく下回るなど、一段と厳しさを増しています。

このような厳しい財政環境ですが、置県百年を迎え、富山県の新しい世紀にふさわしい県づくりを目指し、県民総合計画を基本に「人づくり」、「郷土づくり」、「産業づくり」の三大政策が着実に進められるよう最大限の努力を払いました。

このため、財源の確保に努めるとともに、限られた財源で最大の効果を上げるよう、施策に創意と工夫をこらすなど、財源の重点的、効率的な配分に努めることにより、厳しさの中にも、県民が夢と希望をもてるよう積極的な予算編成を行いました。

公共事業については、これを全面的に受け入れるとともに、県単独事業についても、できる限り配慮しました。

また、置県百年を意義あるものとするため、置県百年を記念する諸事業が、県民総参加のもとに円滑に推進されるように努めました。

行財政改革については、鋭意検討を進め、新年度予算にその成果を反映させました。

「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三大政策を中心に、予算の主な内容を紹介いたします。

富山の四季①



『剣岳』

高田 誠 1979年作
キャンバス・油彩
90.9センチ×116.9センチ

これまで県立近代美術館収蔵美術作品紹介シリーズでは、収蔵作品の中から富山県出身の作家、富山県にゆかりのある作家の作品十二点を紹介しました。
今回からは、置県百年を記念して開かれる「富山を描く—100人100景」展の作品のなかから十二点を選び、作家の目から見た富山を紹介いたします。

この作品は昭和五十四年五月、県立美術館建設準備室の招きによって来県した作者が、上市町馬場島で取材したものです。
ここには、私たち富山県人が抱いている峻厳な剣岳とは違った、たおやかでロマンチックでまるでおとぎ話の一コマのような世界が描きだされています。
この作品に見られるような（残雪の春景色）は、この作家の得意とするところで、一見なんでもない平凡な風景画のように見えますが、よく見ると随所に北国特有の足ばやにうつろいゆく季節の流れが実に巧みに描かれています。
萌黄色の木々の若芽は春を、小高い丘のうえの樹々の深緑は時を経ずしてやがて訪れる暑い夏を、そして剣岳の残雪は冬を象徴的に暗示しているようです。

ここには、春から夏へ、夏から冬へという生きもの全てが持つ時のうつろいの哀しみとでもいうべきものが誇張のない筆によって見事に表現されています。
作者は大正二年埼玉県浦和市に生まれ、昭和五十三年芸術院

取材地略図



会員となつていますが、会員推薦の理由が「点描の手法を用いて、日本の山と取りくみ、温みのある豊かな色彩で、自然の厳しさと深さを画面に表現したこと」にあります。
よく一枚の作品を見ることによって、作者の生いたちや人間性までわかるといわれますが、この作品にも作者の誠実で温厚な人柄がよく表わされています。
(主任学芸員 福井文夫)

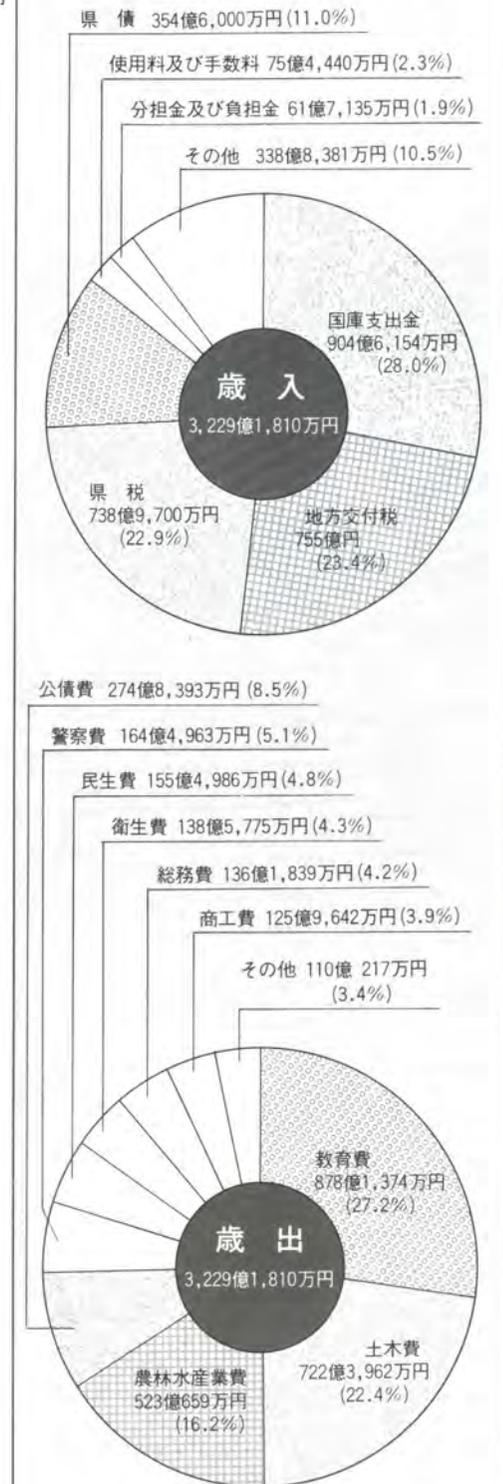
4月号	シリーズ富山の四季①「剣岳」	表1・2	いきいき富山	
	厳しさの中にも夢と希望を	1~11	観光キャンペーンピックイベント	22~23
	—昭和58年度富山県予算—		エンジョイライフ シリーズ①	24~25
	シリーズ21世紀を志する若者たち①	12~13	フレッシュテニス	
	観どころ味じまん 第24回下村	14~15	トピックス—県政のうごき	26~27
	置県100年記念		お知らせ・お茶の間にお届けします県広報	28
	「富山のあゆみ展」開催	16~17	置県百年記念施設紹介①	表3
	新しくなりました県民会館大ホール	18	高岡地域地場産業センター	
	置県100年記念		県政広報映画「若者はいま」完成	表4
	「富山を描く—100人100景」展開催	19~21		

昭和58年度 富山県予算重点項目別一覧表

政策別	重要項目	100億円	200億円	300億円	400億円	500億円	600億円	700億円	800億円
明日を拓く人づくり	健康づくり	254億3,800万円							
	社会福祉の充実	199億900万円							
	生涯学習の推進	798億8,700万円							
	文化の県づくり	7億6,600万円							
	若者と婦人の力を社会に	10億7,900万円							
魅力ある郷土づくり	心のふれあう快適な暮らしの実現	186億6,200万円							
	魅力ある地域づくり	252億7,500万円							
	生活基盤の充実	409億9,200万円							
	総合交通体系の整備	356億6,300万円							
	国際化時代への対応	3億8,000万円							
活力ある産業づくり	技術立県をめざして —新技術時代への対応—	14億9,100万円							
	農林水産業の振興	454億1,600万円							
	創造性豊かな工業の育成	244億3,400万円							
	第三次産業の振興	8億7,400万円							
	雇用の安定	21億7,200万円							
県民本位の県政	開かれた県政の展開	3億3,500万円							
	計画行政、総合行政の推進	14億400万円							
	行政運営の効率化	476億6,700万円							
置県百年記念事業		6億2,800万円							

(単位：100万円)

一般会計予算の あらかし





質の高い文化を創造するため、芸術文化事業を推進



若者の力が社会のために発揮できるような体制を整備（今後の青年学級活動について話し合う若者たち）

文化の県づくり

心のやすらぎや潤いを求める 県民の文化活動への期待にこたえ、地域に根ざした水準の高い文化を創造するため、まず、芸術文化の振興として、芸術文化振興基金を充実するほか、多くの芸術文化事業を積極的に推進します。また、県内移動美術館の開設を企画するほか、新たに県立博物館建設のための基礎調査に取り組みます。

若者と婦人の力を社会に

富山県の第二世紀を切り拓く若者が郷土を愛し、心身ともにたくましく成長するよう、家庭、学校、地域社会が一体となって青少年健全育成運動を進めるとともに、砺波青少年の家体育館の建設、高校生などの社会参加の推進、県内高校生の海外派遣などを行います。婦人がその能力と情熱を地域社会や郷土づくりの場で発揮できるような体制を整備するため、就労婦人対策の強化、研修機会の増大など、婦人施策の一層の充実を図ります。

魅力ある郷土づくり

心ふれあう快適な暮らしの実現

心ふれあう快適な暮らしを実現するため、「あたたかい暮らしづくり事業」により啓発活動を進め、家庭機能の充実を図るとともに、コミュニティ活動実践地区の指定などを通じて、心のふれあうコミュニティの形成に努めます。消費生活の安定・向上を図るため、消費者の啓発、消費者相談など、県民の安全で平穏な暮らしを促します。



明るく温かい家庭やコミュニティ活動などを通じて、心ふれあう快適な暮らしを実現

らしを守るため、地域に密着した街頭警察活動の強化を図ります。防火・防災対策については、地域防災計画の見直しを行い、防災体制の整備を図るとともに、適マークの徹底、観光旅館の防火施設整備に対する融資制度の創設などを行います。また、今年度から、県民総ぐるみ県土美化運動と花と緑の県づくり事業を強力に展開します。県土美化運動については、新たに美化モデル地区を設定するほか、「川をきれいにする運動」「海をきれいにする運動」などを県的に推進します。花と緑の県づくり事業についても、日本一の花と緑の県をめざして総合的なグリーンプランを策定し、地域に根ざした花と緑いっぱい運動を推進します。

魅力ある地域づくり

美しい自然に恵まれた豊かな県土は、県民の誇りであり、この県土の特性は、最大限に生かされなければなりません。生活水準の向上とともに、潤いのある豊かな生活空間を求め、個性ある魅力的なまちづくりが進められるよう、まちづくり計画の策定とまちづくり事業に対し、助成を行います。また、農村総合整備モデル事業や農村下水の積極的整備を進め、雪対策については、さらに調査、研究を進め、総合雪対策の確立を図るとともに、「無雪害まちづくり事業」の継続実施、雪捨場の確保、安全施設の整備、除雪機械の充実などを行い、雪に強い県土を築いていきます。水利用の促進とエネルギー資源の確保については、新たにミニ水力発電の開発、上市川第二発電所の建設、上市川第三発電所の建設着手などを推進します。

生活基盤の充実

快適な県民生活を営むためには、住宅、上下水道など生活基盤の整備、充実に図らなければなりません。住宅対策として、「住みよいかづくり資金融資制度」の一層の充実を図るほか、雪に強い住宅



美しい郷土の実現をめざした、花と緑いっぱい運動を展開



総合的な雪対策を展開し、雪害の克服や積極的な活用を推進



繁殖牛の導入と里山の活用などにより「富山の牛」を振興



新しい加工技術や新製品の開発研究に取り組むための食品研究所



科学技術に親しむ風土をつくり、創造性豊かな人材を育成

活力ある産業づくり

技術立県をめざして

科学技術は、経済社会を発展させる原動力であり、産業存立の基盤です。このため、技術立県をめざし、科学技術に親しむ風土の醸成を通じて、創造性豊かな人材を育てるとともに、技術革新の動向に積極的に対応し

ていくための環境条件を整備してまいります。富山県科学技術振興会議を設置し、科学技術振興の方向を見定め、科学技術教育の充実や人材交流の促進を図ります。また、産業界、大学、行政に

よる共同研究を推進するほか、工業技術センターの建設、食品研究所のオープン、薬事研究所および果樹試験場の建設準備調査を行うなど、公的試験研究機関の拡充を進めます。

農林水産業の振興

高生産、高付加価値農業の実現をめざし、技術開発に積極的に取り組むとともに、農地の流動化による中核農家の育成と、中核農家を中心とする兼業農家との組織化による地域ぐるみ農業を展開します。

稲作については、転作の緩和措置を生かしながら、予約限度数量達成をめざして、意欲でつくる富山米六〇・九・九推進運動を展開し、水田の土壌診断

や村ぐるみ米づくりなどによる良質米生産の高位平準化に一層努力します。水田利用再編対策については、米需給の長期的見通しをふまえ、麦、大豆などを本県の主産作物として定着するよう条件整備に努めます。

畜産については、新年度は特に、繁殖牛の導入と里山の活用など自給飼料生産体制の整備を図り、「富山の肉牛」の振興に努

めます。農産物や工芸品など特産の振興については、「特産王国づくり」推進事業を創設し、全国的にも誇れる特産物の生産の振興や販路の拡大、イメージアップ対策などを展開します。

技術開発については、生産と加工の一体的研究を進める食品研究所を十月にオープンするほか、バイオテクノロジーを活用した生産技術の確立、優良肉牛



北陸自動車道など基幹交通網の整備促進



海外派遣事業や交流事業により国際化時代へ対応



59年3月の開港をめざし、富山新空港、ターミナルビルの建設を推進



小矢部川流域下水道の浄化センターの建設に着手



自然に親しむことのできるよう、県民公園や国立公園を整備

総合交通体系の整備

北陸新幹線については、住民の方々と関係市町村の十分な理解と協力のもとに、地域社会と調和した新幹線計画が円滑に進められるよう努力します。

富山新空港については、予定どおり五十九年三月に、ジェット機の就航を目指し、工事を進めるとともにターミナルビルについても、これにあわせて建設を進めています。

北陸自動車道については、年内に滑川・朝日間が開通する予定であり、残る上越・朝日間に

ついては、昭和六十二年開通を目途に建設の促進に努めます。また、東海北陸自動車道や能越自動車道の早期着工、国道八号の滑川・富山バイパスの早期完成など基幹交通網の整備促進を図ります。

さらに、効率的、合理的な地域交通ネットワークを形成するため長期的展望に立った、体系

的な県内道路網整備計画の策定にとりかかります。港湾については、富山新港東部埋立事業を本格化するほか、港湾施設の整備を図ります。

国際化時代への対応

ますます活発化する国際化に対応するため、広い視野を持った人材の育成や人・物・情報の交流の促進に取り組むことが必

要です。このため、青年の翼を南米に、婦人の翼を北米に派遣します。また、婦人と青少年の国際交

流のつどい」の開催、友好諸外国との親善関係の推進などを行います。

活力ある産業は、県民の就業機会を維持、創出し、県民所得の向上をもたらし、安定した豊かな県民生活を実現します。また、高齢化社会における福祉の充実や地域文化の形成を支援していくものです。このような観点から、次のような施策を行います。



緑を守り育てることによって、森林の多面的機能を活用



テクノポリスの建設に向けて施策を展開



企業誘致を積極的に推進（八尾中核工業団地）

創造性豊かな工業の育成

を改良増殖するための新技術の開発など、新農業時代の技術対応に積極的に取り組みます。
農業生産基盤整備については、新たに、畑地帯総合土地改良事業を実施します。
林業については、全国育樹祭

を皇太子ご夫妻をお招きして開催するほか、緑資源の造成と、森林のもつ多面的機能を發揮していくよう、活力ある地域林業の形成を図ります。
水産業の振興については、漁業経営安定対策の充実を図るとも努めます。

ともに、漁礁の設置や種苗生産施設などの新設のための調査、沿岸漁業開発公社（仮称）の創設などつくり育てる漁業を推進します。また、漁業取締船「劔山丸」を大型かつ高速なものに更新します。

創造豊かな工業を育成するため現在の富山県技術振興協会を母体に、産業技術振興機構として富山技術開発財団（仮称）の設立を進めるなど、テクノポリスの建設に向けて積極的な施策の展開を図ります。
また、企業立地助成制度に加え、長期かつ低利な企業立地促進資金貸付制度を創設するなど、富山新港工業用地、富山八尾中

核工業団地など県内各地への企業誘致を積極的に推進します。
中小企業、地場産業の振興については、中小企業の経営の安定と体質を一層強化するため、県単独中小企業融資制度の融資枠を拡充するとともに、信用保証機能の充実に努めるなど、中小企業に対する良質な資金を円滑に供給します。また、設備近代化資金、高度化資金の充実に

も努めます。
地場産業振興対策については、地場産業振興ビジョンにもとづき、新商品開発、需要開拓、後継者育成事業など総合的な振興策を推進します。
農業については、農業振興資金の融資枠を拡大するとともに、引き続き、新商品の開発、バイオテクノロジーの研究に取り組みます。

第三次産業の振興

本県の商業、サービス業が発展していくためには、消費者ニーズを把握するとともに、企業体質を強化していかなければなりません。
このため、中小商業対策とし

て、新たに、小売商業振興モデル商工会事業を実施し、商店街機能の高度化、活性化を図ります。
また、県民の芸術文化やスポーツなどの高まりに伴い、これ

らへの社会的サービスを図るため、文化・スポーツ産業施設整備資金を創設します。
観光開発については、豊富で優れた観光資源を、県民一人ひとりが誇りをもって守り育てる



機能の高度化、活性化の推進



新しい産業情報などの収集・提供の場として9月にオープンする産業展示館



技術革新、産業構造の高度化に対応した職業訓練の実施

とともに、広く全国に紹介、宣伝するため、国鉄とタイアップして、「いい人、いい味、いきいき高山」をキャッチフレーズに

全国的な観光キャンペーンを展開します。
産業展示館については、九月にオープンする予定ですが、今

後新しい産業情報、貿易情報などの収集、提供の場として、活用が期待されています。

雇用の安定

最近の雇用情勢は、依然として厳しい状況にあるため、引き続き、雇用の実態の把握に努めるとともに、各種の雇用援助制度の総合的活用に加え、高年齢者特別求人開拓員を配置して、離職者の再就職の促進と雇用の安定を図ります。

また、新たにパート雇用センターを設置し、パート雇用に関する総合的なサービスを提供します。
職業訓練については、全国に先がけメカトロニクス関連科目を新設するとともに、中高年齢者向け多能工養成訓練の導入を

図り、近年の技術革新、産業構造の高度化に対応します。
労働福祉については、勤労者の金融対策を充実するほか、新たに「働く婦人の集い」を開催するなど勤労者福祉の増進に努めます。

置県百年記念事業

置県百年記念事業については、置県百年記念事業推進県民会議を中心に、記念式典、にっぽん新世紀博覧会、全国育樹祭、富山のあゆみ展、県民体育大会、県内一周駅伝競走大会など、各種の事業や行事などの準備を着実に進めています。

のとなるよう配慮していきます。また、置県百年を目前に進め

施策の実施のために

以上の施策を進めるにあたっては、次のことを基本として行つていきます。

これらの記念事業が、県民総参加のもとに円滑に行われ、新しい県づくりに十分貢献するも

行政改革については、行政改革検討委員会が検討を行っていますが、新年度予算の編成

に際し、企業局開発課の廃止、一部局一係の削減などの行政機構の簡素合理化、許認可事務の合理化、事務の機械化、民間委託の推進などの事務・事業の見直し、QC運動による事務改善

また、職員定数についても、教職員と警察官を除き、据置き

さらに、計画県政を進めるため、新しい県民総合計画の進捗管理を行い、施策の着実な実施をはかっていきます。今後の計画をめぐる諸情勢の変化に先見性をもってこたえていくことができるよう、必要な調査・研究を進めていきます。

21世紀を指向する若者たち

シリーズ 1

これからの健康づくりには 運動が大切

昨年答申された富山県民総合計画の中で、二十一世紀に向けて、「日本一の健康・スポーツ県」、「日本一の花と緑の県」、「日本一の科学・文化県」の三つの日本一の実現に挑戦することがうたわれています。

そこで、これらの目標を実現するためには、どうすれば

よく、健康であるためには、
食事と休養と運動の三つが必要
だといわれますが、食事の方は、
だんだん改善されてきていると
思っています。現在一番不足して
いるのが運動ですね。

休養については、今までは、
完全休養と考えられていたの
ですが、今は、ストレス解消、疲
労回復には運動がよいというこ
ろが、健康の中にも運動とい
う要素が入ってきているんです。
ですから、これからの健康づ
くりには、一番必要なのは運動じ
やないでしょうか。



三辺忠雄さん
略歴 昭和33年9月26日生
県立富山商業高校卒
順天堂大学体育学部体育学科卒
高校、大学と400mハードルなど
陸上競技で活躍
現在、(財)富山県総合健康増進事
業団職員として、富山県健康増
進センターで受診者の運動を指
導

ばよいかを、現在活躍中の若者のみなさんにインタビューし、その内容をシリーズで紹介していきます。

今回は、健康増進センター運動指導員三辺忠雄さんに健康づくりについてお聞きしました。

ところが、現在は生活の中で
体を動かすことがだんだん少
なくなってきたんですよな
いい例が、都会の方が地方
の人よりも、今は体力がある
という現状です。なぜかとい
うのは、車で通勤すると不
都合なため、電車などで通
勤する人が多く、足や腰が
強くなっているんです。マイ
カー通勤が多く、体力も弱
くなっているんです。

エレベーターを利用しない
階段を登るとか、少しでも
生活の中で体を動かすこと
が必須なんです。

富山県人は運動不足

私がこの職業について二年経
過しましたが、富山県の場合、
他県と比較して運動に対して
は無関心じゃないかと思いま
す。

要ですが、これがなかなか
できないことなんです。

どうして運動することができ
ないかという点、食事の方は、
腹がすくと食べなさいと命
令するところがありません。運
動の方は、運動不足だと感じ
るところがないんです。

だから、体が運動したいとい
う要求をまわっているのに死
ぬまで運動することができな
くなってしまっているんです。

しかし、人間は動物と違って
意志をもっていきますから、
運動しようとする意志をも
てば、運動することができ
るんです。

健診にいらした方の中には、
とんどが、運動不足なんです。
例えば、腹筋運動が一回も
できない婦人や軽い運動です
ぐ倒

れてしまう中年の方もいら
っしゃるんです。
富山県人の場合、仕事に熱
心で、運動のことまで、考
えられないので、考える暇
がないのでしょね。

運動しようとする 動機づけが必要

それでは、どうすれば、運
動をすることができるかとい
う点に難しいんです。

やはり、健康づくりのため
には、スポーツが必要である
ということも理解していただ
いて、運動しようという意
志をもっていただくしか
ないですね。

しかし、もっと運動しまし
よと言葉でいってもなかなか
できないのが現状じゃない
でしょうか。特に、運動に
今までは関心のない方や中
高年の方にとっては、
そこでも、どうしても運動
する動機づけが必要なんです
ね。

その動機づけとして、気軽
に運動できる場所があるとい
うのは、運動しようという
気持ちをおこさせること
ではないでしょうか。

例えば、タバコだと一日何
本吸うと平均寿命が何年
ちぢまるとかというデータ
を示せば、タバコをやめ
たいという気持ちが強
くなりますね。

しかし、現在、運動と健康
の関係を示したデータが
ほとんどないために、運
動しようという気持ち
をおこさせることができ
ないんです。

今後は、だんだんとデータ
を集めたいと思いますが、
中高年層を中心にした
ものがたくさん欲しい
ですね。そうすれば、
データに基づいた、適
切な指導もできると思
います。



体力測定の説明を行う三辺さん（健康増進センターで）

第24回 下村

観どころ味じまん



加茂神社の やんさんま祭り

五月四日、加茂神社では、一般に「やんさんま」と呼ばれている祭りが行われます。この「やんさんま」は、「流鏝馬」のなまったものといわれています。

この祭りは、走馬からはじまり、神幸式、神馬式、御旅所着御、牛乗式、御旅所神楽の儀、還御、例祭式、九遍式、流鏝馬式の順に神事が行われ、なかでも牛乗式と流鏝馬式が有名。牛乗式は、日本でも、この社だけで行われているもので、牛をすわらせることによって田の神様がこの地に留まり、五穀豊穡がもたらされるといふことから、田の神を乗せた牛を座らせようと若者の力が発揮されます。

また、流鏝馬式は、駆ける馬上から矢を射て、的に当てる神事。射られた矢の響きは、老杉間にこだまし、多くの群衆がその神技に酔い、この祭りのクライマックスを迎えます。射られた矢は、神秘的な除魔招福の霊符と信じられていることから、この矢を手に入れようと、的射ごとに群衆の間で取り合いが行われます。

今年の豊作を祈り、牛を座らせようと力を込める若者たち



駆ける馬上から満身の力をこめて放たれた矢を見つめる群衆

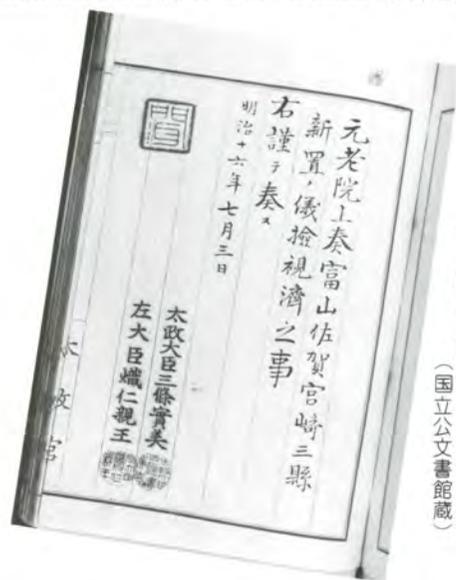


「富山のあゆみ展」開催

期間 5月7日～5月29日(23日間)
会場 富山県民会館一階展示場



北の荒海を航海する北前船(再現図)
北海道の交易に明治まで活躍(作画・谷井建三・魚津市出身)



太政官で富山県を設置した原議を
元老院(国会に相当)で確認した文
書、「閣」の角印は、天皇検閲の印
(国立公文書館蔵)

展示会の内容と展示物

今年の五月九日で、富山県が設置されてから満百年を迎えます。百年の富山のあゆみを回顧し先人の努力のあとをしるのび、新しい世紀への出発点としようとするのがこの展示会です。

テーマⅠ 富山の風土と歴史

雄大で豊かな自然も、ひとた 営みの中から再確認します。
び荒れば厳しい自然となって (主な展示物)
県民の生活を脅かします。
こうした自然の中に生き抜いた先人たちの不とう不屈の精神
や勤勉さ、進取の気性を歴史の

テーマⅡ 自立する富山県

度重なる県域の変更で県治は のびます。
定まらず、その上石川県との合併で、越中の住民の悲願である
治水も思うままにならぬ先人の 苦難と分県運動から、富山県が
独立するまでの努力のあとをし

テーマⅢ 郷土づくりの100年

置県以来、約半世紀は河川改 修が県政の大半を占めました。
農地・用水を整備し、神通川廢 川地の都市化、交通機関の整備 の過程をたどります。
(主な展示物)
・河川改修の父、オランダ人デレーケに関する資料
・愛本橋模型(宇奈月中生徒作)
・交通機関の発達模型や資料

テーマⅣ 産業のあゆみの100年

水魔という災いを福に転じ、 組んだ農業、育てる漁業の発展 水力発電を起こした先人の英知。 ことに「県営電気事業」は他県 に例を見ない事業で、これを契 機に富山県の工業化が進みまし た。明治以来、米の増産に取り
(主な展示物)
・水力発電の発達資料
・工業の発達資料
・農・漁業の資料

テーマⅤ 県民のくらしの100年

「水禍」と「貧困」から抜け出 し、教育の充実、県民のくらし や文化の向上に至る県民のくらしの百年をたどります。
(主な展示物)
・町や村のくらしのジオラマ
・県出身スポーツ選手のメダル
・教育の発達の姿、教育の心

テーマⅥ 象徴立山とふるさとの誇り

立山の雄大さを県民は誇りと し、心に鞭打つ糧としてきまし た。
立山を鑑仰した先人の心を再 確認し、現代によりがえらせる とともに、ふるさとから雄飛し
(主な展示物)
・立山登山の変遷資料
・先覚者の資料

特別展示

- 銅鑄杖の頭(国指定重要文化財)
初公開
- 銅造 立山神像(国指定重要文化財)
- 木造 慈興上人座像(立山開山、国指定重要文化財)

マルチスクリーン

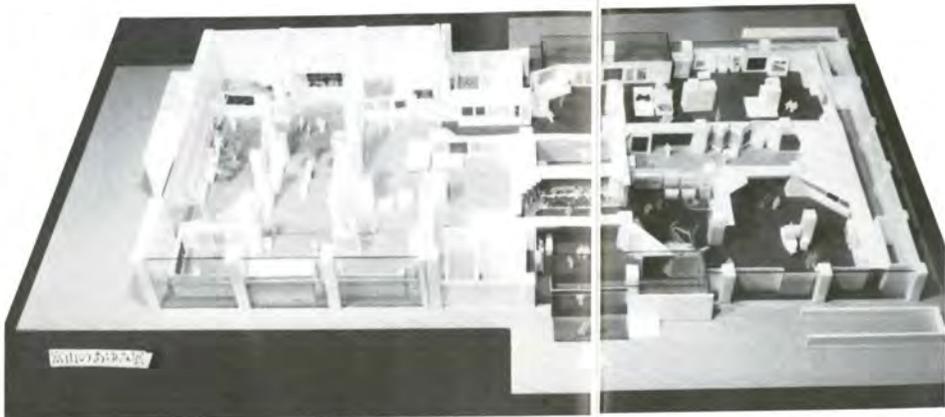
二十七インチテレビ十五台により、大画面、半分の画面などに 変化させながら、富山県百年の 歴史と発展のあとを追想し、新 しい世紀への自覚を高めます。



前田正甫公反魂丹役所視察のジオラマ



明治18年、富山市総曲輪で開校 した富山県 県令の時代



「富山のあゆみ展」の会場模型



放課後を利用して、愛本橋の模型を製作する 宇奈月中学校の生徒たち

「富山を描く—100人100景」展

4月19日(火)—6月19日(日)



上市町馬場島でスケッチする相原求一朗氏

県立近代美術館では、四月十九日(火)から六月十九日(日)まで、昭和五十八年度の第一企画として、「富山を描く—100人100景」展を開催します。

この展覧会は、本県の置県百

年を記念する八十八事業の一環として、昭和五十三年四月から五年間に毎年二十人、現代日本を代表する百人の作家の方々に来県をお願いし、ふるさと富山の自然や風俗、行事などに取材

した絵画を新たに製作していた。置県百年を飾るにふさわしいユダクという構想のもとに進められていたものです。

来県された作家の方々はそれぞれに、私たちが平素なげなく見過している自然や風俗、行事などを新鮮な感性によってとらえなおし、その奥底にひそむ深い歴史の重みと、私たち富山人の心の拠りどころでもいべきものを見事に描きだしています。

この展覧会に展示される百一点の作品は、それ自身富山県の

●観覧料金(一)内は二十名以上の団体

一般六百元(五百円) 高大生四百円(三百円)
小中学生二百五十円(百五十円)

●休館日

月曜日、祝祭日の翌日

(なお、当展覧会の図録(オールカラー印刷百二十八ページ、販売予定価格一冊千五百円)の予約を受付けています。第一期出版は五千部限定としますのでお早めにお申し込み下さい。申し込みは0764-21-7111 県立近代美術館ブックショップまで)

新しくなりました 県民会館大ホール



県民会館ホールは、昭和三十九年創立以来今日まで、数多くの芸術文化事業の場として利用されてきましたが、十八年余を経た現在、多様化し増大化の一途をたどるニーズに対応できるよう施設の整備が、強く望まれてきました。

このため、昨年五月に、県内外の有識者及び利用者の方々による検討委員会を設置し、各界の要望を検討して、当館ホールの特徴を生かした、施設整備計画を作成しました。

今年度はその第一段階として、置県百年の各種イベントにも対応するため、客席の全面更新、内装整備、視聴覚機器の充実などの整備事業が十二月から三月にかけて、施工されました。

その内容は、

- ① 椅子幅を四十四センチから四十八センチに、材質は、木製というように、ゆとりのある観賞と、音響効果を配慮し、色調に関しては、全体のイメージをくずさないようオレンジ色に統一し、機能性の中にも豪華さを持たせました。
 - ② 客席の天井、壁面の塗装替に合わせ、細かな資料でも見やすいように客席灯の更新、開演前や休憩時間にゆとりとくつろげるようにロビーを一新しました。
 - ③ 国際化時代に対応して、同時通訳装置(四カ国語まで可能)や、ビデオの普及に伴ない学会、研究発表など幅広く利用できるビデオプロジェクター装置、舞台進行状況を適時適確に控室などに送るモニターテレビ装置を設置しました。
- 以上はいずれも時代の要請に即応した「文化ホール」への新たな対応といえる整備事業であり、今後も、施設の近代化と設備充実を図り、「文化の県づくり」の推進に大いに役立つものとなります。
- みなさんの利用をお待ちしています。



いいきき富山 観光キャン

ふるさと富山県には、立山や黒部峡谷に代表される雄大な大自然、古くから受け継がれてきた伝統工芸、情緒豊かな祭りや民謡、そしていいききとした山海の味覚など、全国に誇れる、魅力いっぱいの観光資源がたくさんあります。

そこで、富山県と、いいきき富山観光キャンペーン実施協議会では、国鉄とタイアップして、この恵まれた観光資源を広く全国に紹介、宣伝するため、「いい人、いい味、いいきき富山」をキャッチフレ

ーズに大観光キャンペーンを実施します。

特に、上越新幹線の開業をはじめとする高速交通網の整備を迎えて、これまでの「遠くて不便な富山」から「近くて魅力ある富山」へ大きくイメージチェンジを図ろうとしています。

この観光キャンペーンを通じて、全国からの観光客の誘致増大を図るため、次のような楽しいピック

いいきき富山観光キャンペーンオープニングセレモニー “立山御神火リレーに参加しよう”

- 4月**
- 日時 4/25(月) 8:00~12:00
 - 場所 立山~富山県庁前広場
 - 内容 立山頂上で採火した御神火を全国から募集したランナーにより富山県庁前広場までリレーします。
 - お問い合わせ 立山黒部宣伝センター
〒930 富山市桜町1-1-36 (☎0764-41-3331)

いいきき富山曳山まつり

- 4月**
- 日時 4/29(金)~5/5(木)、10:00~19:00
 - 場所 富山市五福公園 (県営軟式球場)
 - 内容 古く昔から受け継がれてきた由緒ある曳山を一堂に集め祭典を開催します。
 - 4/29 プラスバンド
 - 4/29~5/1、5/3、5/5 曳山実演
 - 4/29~5/5 民謡、太鼓競演、獅子舞競演、郷土民芸品コーナー
 - 5/1 綱引き大会
 - 5/3 のど自慢大会、マジックショー
 - 5/5 ミス曳山コンテスト、ぬいぐるみショー
 - お問い合わせ いいきき富山観光キャンペーン実施協議会
〒930 富山市新総曲輪1-7 (県観光物産課内)
(☎0764-31-4111)

富山テレビ放送(株)
〒930 富山市根塚町828 (☎0764-25-1111)

入場料	大人	小・中学生
当日券	1,000円	500円
前売券	800	400
団体券(20名以上)	800	400

いいきき富山獅子舞大競演会

- 5月**
- 日時 5/8(日) 11:00~
 - 場所 高岡市体育館、高岡市街
 - 内容 県内に古くから伝わる華麗な獅子舞を一堂に集め競演会を開催します。
 - お問い合わせ いいきき富山観光キャンペーン実施協議会
〒930 富山市新総曲輪1-7 (☎0764-31-4111)

ペーンビックイベント

4月25日~8月24日

イベントがたくさん企画されています。

みなさんも、県外の友人や知人の方といっしょに、このビックイベントに参加して、いいきき富山の魅力を味わってみませんか。

6月 いいきき富山観光と物産まつり

- 日時 6/22(水)~6/26(日) 10:00~18:30
- 場所 富山県民会館(富山市)
- 内容 雄大な大自然と伝統ある特産品・新鮮な山海の味覚など、富山の魅力を集めて祭典を開催します。
- お問い合わせ いいきき富山観光キャンペーン実施協議会
〒930 富山市新総曲輪1-7 (☎0764-31-4111)

6月 いいきき富山 ふるさと民謡・民舞まつり

- 日時 6/23(木)~6/25(土) 昼の部14:00~ 夜の部17:00~
- 場所 富山県民会館ホール(富山市)
- 内容 郷土色豊かな民謡と踊りを一堂に集め、祭典を開催します。
- お問い合わせ いいきき富山観光キャンペーン実施協議会
〒930 富山市新総曲輪1-7 (☎0764-31-4111)

7月 ジョイフル立山・夏の祭典

- 日時 7/3(日) 7:00~15:00
- 場所 立山山頂・室堂(立山町)
- 内容 ヤングアダルト立山山頂に大集合(立山成人登拝)、立山山頂結婚式招待(2組)
- お問い合わせ 立山黒部宣伝センター
〒930 富山市桜町1-1-36 (☎0764-41-3331)

7月 富山県100年記念につぼん新世紀博覧会 (ピコフェア)

- 日時 7/16(土)~9/15(木) 9:00~18:00
- 場所 置県100年記念公園太陽山ランド(小杉町)
- 内容 「新世紀への旅立ち」をテーマとし、100年記念館などの各種テーマ館、野外劇場、プレーランドが設けられ、躍動する富山県の姿が展望できます。
- お問い合わせ につぼん新世紀博覧会本部
〒930 富山市安住町2-14 北日本新聞社内
(☎0764-32-1111)

入場料	大人	高校生	小・中学生	幼児
当日券	1,500円	1,000円	700円	400円
前売券	1,200	800	500	200
団体券(20名以上)	1,200	800	500	200

いいきき富山を写そう 写真コンテスト

- 4月**
- 月日、場所 4/25(月)~8/24(木) 県内一円
 - 内容 富山県内で撮影された、自然、海の幸・山の幸、祭り、モデル撮影会、鉄道旅行、いいきき富山イベントなどを題材とした写真コンテスト。
 - お問い合わせ いいきき富山観光キャンペーン実施協議会
〒930 富山市新総曲輪1-7 (☎0764-31-4111)

・モデル撮影会(有名タレント等)
5/10日...砺波チューリップフェア(砺波市)
5/15日...宇奈月温泉春まつり(宇奈月町)
5/29日...富山城址公園(富山市)
6/12日...合掌の里・五箇山(平村・上平村)
7/24日...につぼん新世紀博覧会(小杉町)

フレッシュシュテニス

シリーズ①

エンジョイライフ

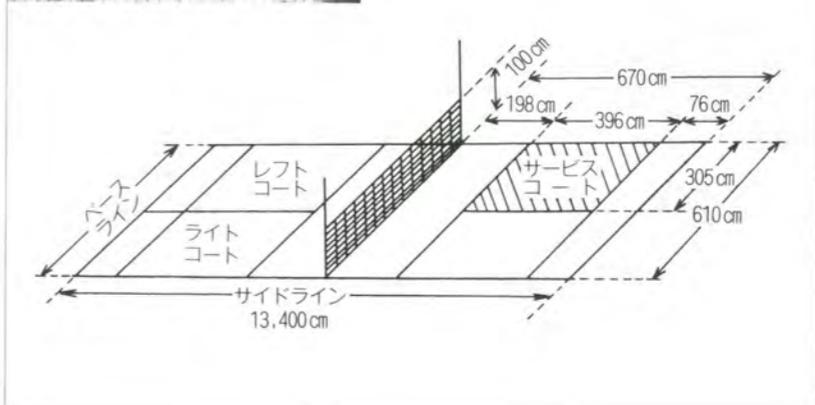


フレッシュシュテニスは、テニスのスマートさと楽しさを、手軽に味わうことができ、誰でも気軽にできるスポーツです。
また、狭い場所でも体力に応じた運動量で、さわやかな汗を流すことができます。
このフレッシュシュテニスは、「スポーツの楽しさ

フレッシュシュテニスをするためには

フレッシュシュテニスをするためには、次のものが
必要です。

- コート……パドミンソンのダブルスコートを
利用します。
- ネット……パドミンソンのネットを床から一
肘の高さに張りませす。
- ラケット……ラケットボールやミニテニスなど
のシャフトの短いラケットを使用
します。プレーしやすく、パート
ナーを誤って打ったりする危険性
の少ないものを選んで下さい。
- ボール……テニスボールと
同じサイズのス
ポンジボールが、
プレーを楽しむ
うえでちょうど
よい弾みかたを
します。



をより多くの人に味わって欲しい」という願いをこめ、富山市体育指導員協議会が中心となって開発されたものです。
みなさんも、このフレッシュシュテニスを楽しんでみませんか。

フレッシュシュテニスのルールは

ダブルス

二人一チーム、四人でゲームをおこないます。

サービス

ジャンケンでサービスカレ
シープ、またはコートを決め
ます。

サービスは、ネットに向つて右側(ライトコート)のペ
ースライン後方から始め、右
左交互に対角線上の相手方サ
ービスコート内にボールを打
ち込みます。

サービスは、トスしたボー
ルを直接またはワンバウンド
させて、ベースライン後方か



サーブは、トスしたボールを直接またはワンバウンドさせて、アンダーハンドストローク(腰から下)で打ちます。

らアンダーハンドストローク
(腰から下)で打ちます。
サービスは、一回とし、ネ
ットイン(レット)の場合は
やり直します。

最初にサービスしたプレー
ヤーは、そのゲームが終了す
るまでサービスを続け、相手
チームは、必ず交互にサービ
スを受けます。

得点

一ゲームは四点先取した方
を勝とし、三対三になった場
合は、それ以後二点連続して
先取した方を勝とします。

一試合は七ゲームとし、四

ゲーム先取した方を勝としま
す。(場合によっては、五ゲー
ム、九ゲームとし、三ゲーム、
五ゲームを先取した方を勝と
します。)

サーブとレシープ

サーブとレシープは一ゲー
ム終るごとに行います。

チェンジコート

チェンジコートは、奇数ゲ
ームが終るごとに行います。
※その他については、軟式庭球
のルールに準じて行います。

私たちの楽しみフレッシュテニス

大門町の大門FTクラブ(会長 朴木健五郎さん)は、主婦が中心になって昨年の7月に結成されたフレッシュテニスクラブです。毎週水・金曜日には、会員が大門町民体育館に集まり、楽しく汗を流しています。

稲垣靖子さん

私は子供に手がかからなくなつたので、このスポーツをはじめましたが、ひじょうに楽しいスポーツです。



クラブ内の練習試合で優勝した稲垣さんと朴木さん

朴木真智子さん

最近、運動不足だったので、このスポーツをはじめたんですが、簡単で、楽しく、ストレスを解消することができます。

こんな場合は、反則となつて相手チームの得点となります。

アウト

打ったボールが、アウトコ
ート、コート外の物体もしくは
はパートナーのラケットや身
体などにふれた場合

フットフォルト

サービスを打つ際、ベース

ラインの外から行わなかつた
場合。

ボディタッチ

ボールがプレーヤーの身体
または着衣に触れた場合。

ネットタッチ

ラケットや身体がネットに

ドリブル

ボールが同一プレーヤーに
よつて連続して打たれた場合。
ツーバウンド

二回以上バウンドしたボー
ルを打つた場合。

2月15日～3月15日

2月21日

北陸新幹線環境アセス案に対する 知事意見書提出

鉄建公団が昨年12月に発表した北陸新幹線の県内ルート
の環境アセスメント（影響評価）報告書案に対する
知事の意見書が、鉄建公団に提出されました。

公団では、これに基づきアセスメント報告書、見解
書をまとめ、工事実施計画書に添え運輸大臣に認可申
請することになります。

2月24日

太閤山ランドシンボルマーク決まる

7月に開園する県民公園太閤山ランドのシンボルマ
ークが決まりました。

県内外から545点が応募され、審査の結果、高島謙三
さん（24歳、デザイナー）の作品が入選作に選ばれま
した。

この作品は、赤い丸と3つの輪を形づくりのライトブ
ルーのラインの組み合わせによって、太閤山ランドに
おける人と自然の新しい出会いを表現したものです。

このシンボルマークは、今後太閤山ランドの印刷物
や公園内の案内標識などに使用されます。



○全体の形は、幸運を表す四葉のクローバーの型
で兜の太閤さん、紙の兜をかぶった元気な子供を思
わせ、また、太という文字のイメージも持っています。

○赤い丸は、公園にやってきた人々（特に子供たち）、
さし昇る太陽のイメージ。

○ブルーのライン…水（特にプール）、広場や園路、花
やチョウのイメージ。

2月24日

火災防御図上訓練

強風下の火災を想定し、消防指揮関係者の技能向上
を目指した火災防御図上訓練が、県庁4階ホールで富
山市消防本部の各級指揮者ら50人が参加して行われま
した。

この訓練は県内では初めての試みで、会場には、「火
災地域」の富山市大町、堀川小泉町を拡大した地図で
建物、消防車、救急車の模型を使って、火災状況に応
じた訓練が行われました。



強風下の火災を想定して行われた火災防御図上訓練

2月24日～3月12日

2月定例富山県議会開催

2月定例富山県議会が2月24日開催し、17日間にあ
たる審議の結果、昭和58年度一般会計予算案、昭和57
年度補正予算案など100件を原案通り可決し、閉会しま
した。



昭和58年度予算案などを審議する2月定例県議会

2月25日

バイオテクノロジー（生命工学） 講演会開催

遺伝子組み替え、細胞融合などによって目的に適合
する生物体を創り出し、これらの生物体の活動を応用
しようとするバイオテクノロジーの講演会が第一線で
活躍中の研究者2人を招き開かれました。

この講演会は、昨年発足した県バイオテクノロジー
推進懇談会が、バイオテクノロジーに対する正しい知
識と理解を深めてもらうために開催されたものです。

会場の県庁4階ホールには、県内の技術者など多数
の人が集まり、バイオテクノロジーの現状と将来につ
いて熱心に耳を傾けました。

3月13日

第2回北方領土返還要求富山県大会開催

北方領土返還要求運動富山県民会議（会長・荻野幸
和 黒部市長）主催の第2回北方領土返還要求富山県大
会が、富山市の第一生命ビルで開かれました。

大会には、県内関係団体から約200人が出席し、運動
への結束を誓うとともに、大会宣言を採択しました。

引き続き、蘭舞群島のシボツ島に在住していた小柳
幸一さんが元居住者を代表して、島での経験を語り、
返還への願いをアピール。

最後にNHK解説委員萩原宏平氏の記念講演が行わ
れました。



北方領土の1日も早い返還を求めて開催された
第2回北方領土返還要求富山県大会

3月14日

新設3校の校章決まる

4月に開校する新設3高校の校章が次のとおり決ま
りました。

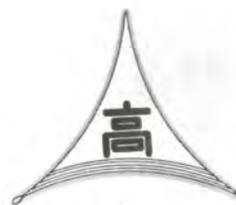
デザインを作成したのは、水橋高校が富山市教育委
員の安達勝三氏、呉羽高校が富山北部高校のデザインチ
ーム、福岡高校が高岡高校の高長久俊教諭。

水橋高校……………立山連峰から流れる清流と、



中央に富山県を象形する図
案を組み入れ、水橋のMと
高校のHを模様化し、水に
恵まれた美しい自然の中で
優れた知性、たくましい体
力、温かい心を育てる若人
の意欲を躍動的な形にまと
めています。

呉羽高校……………澄み切った青空を背景とし



た呉羽丘陵を形象化し、流
動感のある三本の曲線で英
知、感性、体力の三拍子の
調和のとれた人間形成に励
む生徒と、地域の人々、教
師の三者が協力し合って進
む学校の姿勢を示していま
す。

福岡高校……………福岡町周辺の山地に自生す



る「蘭」に山並を配し、中
央の三角形と円で高い知性
と豊かな情操、強い意志を
内に秘めた高潔な人格を表
し、未来への可能性と発展
を象形化しています。

3月15日

東京で“いきいき富山”をPR

県では、4月からはじまる「いきいき富山観光キャ
ンペーン」をひかえ、東京駅八重洲北口の鉄道会館で、
東京の旅行、雑誌レジャー、テレビ、ラジオ関係の記
者を招き、富山県観光客誘致出向宣伝を行いました。

この宣伝説明会は、本県の魅力ある観光資源を雑誌、
テレビなどで、全国に紹介、宣伝してもらい、観光客
の誘致増大を図ろうと行われたものです。



主要施設内容

施設名	階	m ²	備考
・地場産業資料展示室	1~2	320.00	地場産業の歴史的資料、観光施設のパノラマ、曳山のミニチュア等の展示
・常設展示場	1~2	1,315.39	地場産品の常設展示・即売
・見本市・展示会等開催場	2	823.43 ※664.00	イス約1,000席、ステージ付
・和室研修室	2	112.20	50人収容
・屋外展示場	2階テラス	(267.00)	大型展示物の野外展示
・組合事務室	3	81.54	漆器1、銅器3組合
・会議室	3	102.98	60人収容
・研修室	3	46.91	25人収容
・公益施設	4	66.45	高岡市工芸デザイン指導所
・商品開発室	4	62.00	デザイン開発等に供する
・試作室	4	44.55	
・スクール実習室	4	58.34	地場産業の後継者育成
・情報資料室	5	18.31	地場産業資料の収集
・講演研修ホール	5	242.82 ※186.60	固定席約200人収容 経営者セミナー等に供用 ステージ付

4月26日のオープンを待つばかりの高岡地域地場産業センター

シリーズ 置県百年記念施設紹介 ①

高岡地域地場産業センター

高岡市開発本町1-1
☎ 0766-(25)-8283

昭和五十八年四月二十六日に、高岡地域地場産業センターが完成します。当センターは、県西部地区の地場産業の総合的振興、相互交流などの中核的拠点として建設されたものです。今後、地場産業界の新製品開発、人材育成、需要開拓などの振興事業を展開するほか、地域

住民と地場産業の交流を通じて、一般の方により郷土の産業を理解していただく場としての役割も期待されています。また、高岡銅器・漆器、井波彫刻など優秀な地場産産を有しているから、地理的知名度の点でなじみがあるにもかかわらず、需要開拓の面で大きなマイナスイメージがう



地場産品が展示される常設展示場

そこで、当センターでは、県外観光客の誘致に努め、当地域の知名度向上や地場産産品のPRを図ることも重要な目的となっています。

なお、当センターではオープニング事業として、四月三十日から五月五日まで「全国伝統工芸品展」など多くの行事を計画しています。みなさんのご来場をお待ちしています。

4月の置県百年記念行事

- 3/26~4/7 第14回日展富山展 場所 富山県民会館
- 4/19~5/19 「富山を描く-100人100景」展 場所 県立近代美術館
- 4/19~5/19 県立近代美術館参観招待 場所 県立近代美術館
- 4/25~8/24 いきいき富山観光キャンペーン 場所 全国
- 4/28 グリーンプラン 第34回 富山県植樹祭 場所 滑川市東福寺野
- 4/28~5/5 チューリップ農業祭 場所 砺波市
- 4/29~5/5 いきいき富山大曳山まつり 場所 富山県五福公園
- 4/30~5/5 全国伝統工芸品展 場所 高岡地域地場産業センター
- 4/1~ 県土美化運動 場所 県内全域

お知らせ

●昭和58年度中小企業設備近代化資金の第1回申込受付について
県では、中小企業設備近代化資金の第1回の申込受付を次のとおり行います。
申込受付期間 4月15日~4月30日
申込先 各市町村商工事務担当課
この資金は、中小企業者の皆さんの設備の近代化に必要な資金を、県が直接融資するもので、条件は次のとおりです。
貸付金額 設備額の40~50%以内で、1,500万円を限度とします。
貸付利率 無利子
貸付期間 5年(公害防止設備は12年)以内
貸付対象業種及び設備 182業種、522設備が定められており、58年度中に設置される設備が対象となります。
詳細については、最寄りの市町村、商工会、商工会議所または、県庁中小企業課(☎0764-31-4111内線510)までご照会ください。

●「富山県婦人週間のつどい」開催
4月10日から始まる婦人週間の記念行事として、「あらゆる分野への男女の共同参加」をテーマに「富山県婦人週間のつどい」を開催いたします。女性の方はもとより男性の方も多数ご参加ください。
◎日時 昭和58年4月15日(金) 午前10時から
◎場所 富山県教育文化会館
◎開催行事 ・第I部(午前) 婦人問題富山県民会議 パネルディスカッション「男女の共同参加について」
・第II部(午後) 講演 “これからの女性像” 秋山ちえ子(評論家)

●犬を飼っているみなさんへ
4月1日から約1ヵ月間、県下各地において犬の登録と春の狂犬病予防注射を実施いたします。みなさん必ず受けましょう。登録および予防注射の日時・会場などの詳細については、最寄りの保健所や市町村役場にお問い合わせください。最近、犬による苦情や事故などが多発する傾向にあります。これらは、無責任な飼い主による放し飼いや捨て犬が大きい原因です。このような飼い主に対しては、犬の危害防止条例により厳重に処罰されます。飼い主の方は、他人に迷惑がからぬよう責任をもって犬を正しく飼いましょう。

●おわび
先月号「こちら消費生活センターです」の21ページに「訪問販売法」が適用される場合であっても、現金で一括払いすること。(クーリング・オフの行使はできません。とあるのは「訪問販売法」が適用される場合であっても、現金で一括払いするとクーリング・オフの行使はできません。の誤りでした。

4月の街頭献血日程

月日曜	場 所	時 間	月日曜	場 所	時 間
4/1(金)	氷見市民会館前	10:00~15:30	4/18(土)	富山駅前	10:00~16:00
2(土)	富山駅前	10:00~16:00	19(日)	大沢野図書館前	10:00~15:30
2(土)	高岡駅前	10:00~15:30	22(金)	新湊市役所前	10:00~15:30
5(火)	滑川市役所前	10:00~15:30	23(土)	富山駅前	10:00~16:00
8(金)	入善町役場前	10:00~15:30	23(土)	高岡駅前	10:00~15:30
9(土)	富山駅前	10:00~16:00	24(日)	高岡駅前	10:00~15:30
9(土)	高岡駅前	10:00~15:30	27(水)	庄川町役場前	10:00~15:30
10(日)	富山西武前	10:00~16:00	30(土)	富山駅前	10:00~16:00
14(木)	立山町役場前	10:00~15:30	30(土)	高岡駅前	10:00~15:30
16(土)	魚津サンプラザ前	10:00~15:30			

県政についてのご相談は県民相談室へ

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波3-5151

お茶の間にお届けします県広報

広報課では、この「県広報とやま」のほか、テレビ、新聞などの媒体を活用して、県の施策の紹介や暮らしに欠かせない情報を提供しています。

テレビ広報

KNB「こんにちは富山県です」

県政の諸施策、問題点を、みなさんに知っていただくための番組です。また、今年度は、置県100年特別企画をシリーズで行います。

毎週日曜日、午前8時~8時30分

今月の「こんにちは富山県です」

3日	富山県ここのし予算
10日	若者はいま(県広報映画)
17日	知事に聞く
24日	置県100年特別企画

富山テレビ「110万人のひろば -クイズ! フォーカスイン-

県内のいろいろな話題、さまざまな施設、みなさんの関心事などを、クイズ形式で楽しく紹介する、ふるさと再発見番組です。

毎週日曜日、午前9時~9時30分

新聞広報

県的主要な施策や事業を紹介し、当面する課題をみなさんと一緒に考えると同時に、生活情報を提供します。

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎月第2土曜日「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2・最終土曜日「県からのお知らせ」

県政広報
映画「若者はいま」完成

勉強に励み、スポーツに汗し、芸術に打ち込む若者たち。この若者たちの真剣な姿を映し出した県政映画「若者はいま」＝明日を拓く人づくり＝が完成しました。

「人の集まる場所に出て、自分を試したい!」、「たくさんの友人と一緒に将来を考え、生きていきたい!」、「もっと若い奴、入ってこい!」、「どうあろうと、やっ



ぱり伝統は守っていききたい!」と富山に生きる若者たちが、現在、将来について語り合い、そして「みんな迷っている。でもみんな力を貯えている。明日を生きる力を、若い体のため込んでいる。その力は、明日の富山県の力だ」とナレーターの常田富士男さんは結んでいるこの映画。

どうぞ、機会をつくってご覧ください。

◇規格 16mmフィルムおよびビデオテープ
放映時間……30分

◇利用申込先

富山県知事公室広報課

〒930 富山市新総曲輪1-7 ☎0764-31-4111

富山県視聴覚ライブラリー

〒930 富山市五福2,238 ☎0764-32-6420

4月10日は投票日
富山県議会議員選挙
みんなそろって投票しましょう